



第6回一心祭実行委員長
理学療法学科2年 たけした かおり
(尚綱高校出身) **竹下 香織**

一心祭を振り返って

一心祭を振り返っての感想

今年度の一心祭も、大成功と言えると思います。ステージもほぼ予定通り終わり、模擬店も事故なく楽しく行うことができました。準備についても、自治会全員で協力して行うことができました。イレギュラーな案件も多々あり苦労しましたが、前日当日ともに例年よりも早く終わることができました。ご協力頂いた自治会以外の学生・先生方・事務の方・業者様へは、感謝の言葉しかありません。また、この経験は必ず社会に出たときに役に立つことと思います。

後輩たちへのメッセージ

課題としては、やはりマニュアルの重要性を感じました。過去にどのように行ったのか、どこへ連絡したのか不明な部分があり、事務の方に去年と同じ説明をさせて手間をとらせたり、逆に業者の方に去年の見積を頂いたりと迷惑をおかけた部分も多かったです。自分達が行ったこと、教えてもらったことはすぐにメモを取ることが大事だと思います。来年度の一心祭も、学校全体で協力して楽しめるようなものにしてほしいと思います。



竹下さん挨拶 自治会長挨拶

専各連体育大会結果 2014年 第58回熊本県専修学校各種学校連合会体育大会 第36回九州ブロック専門学校体育大会(宮崎大会)

☆☆☆ 熊本大会 ☆☆☆

団体	卓球(男子):優勝 バスケット(女子):優勝 ソフトテニス(男子):優勝 バレー(男子):2位 テニス(女子):2位 バドミントン(男子):3位
個人	ソフトテニス(男子) 優勝:山邊 竜基・山口 翼 卓球(男子) 優勝:寺本 直樹 3位:石井 亮 4位:依積 田 亮 テニス(男子) 優勝:藤田 卓也 3位:丸山 天飛 4位:森下 偉斗

☆☆☆ 九州大会 ☆☆☆

団体	ソフトテニス(男子):2位 卓球(男子):3位 バスケット(女子):3位
個人	ソフトテニス(男子) 3位:山邊 竜基・山口 翼 卓球(男子) 3位:寺本 直樹 テニス(男子) 3位:藤田 卓也

2月~5月 EKIGAKU Schedule エキガク スケジュール

2月	3月	4月	5月
<ul style="list-style-type: none"> 看護師国家試験 理学療法士・作業療法士国家試験 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業式 春期休暇 	<ul style="list-style-type: none"> 入学式 前期授業開始 クラスマッチ 看護学科3年生実習開始 	<ul style="list-style-type: none"> 理学・作業療法学科4年生 長期実習開始

入試試験・願書受付中!

理学・作業療法学科	一般入試・自己推薦入試【E日程】 2月21日	一般入試・自己推薦入試【F日程】 3月18日
看護学科	一般入試【C日程】 3月3日	

医療4職種説明会開催!

3/14 sat 9:30 start!



専各連体育大会



Topics1 在学生紹介

卒業予定者	部活動キャプテン
<ul style="list-style-type: none"> 作業療法学科4年 川端 桂司さん 理学療法学科4年 新名 祐介さん 看護学科3年 亀山 千尋さん 	<ul style="list-style-type: none"> 理学療法学科3年 山邊 竜基さん 理学療法学科3年 野村 恵里沙さん 理学療法学科3年 寺本 直樹さん

Topics2 専各連体育大会 結果

Topics3 熊本駅前看護リハ スケジュール

2015・2月～2015年・5月



理学療法学科4年 川端 桂司 (秀岳館高校出身)

■長期実習で学んだことや感想を教えてください。

長期実習では、尊敬する先生方の指導のもと様々な治療場面に参加させていただき、文章には起こしきれない程の数多くの事を学んできました。特に、チーム医療としての役割について考えを深め、様々なリハビリテーション領域を見ることができた今だからこそ、改めてチーム医療の重要性を感じています。専門職が各々に自分の職務をこなすだけでは、本来の意味でのリハビリテーションは実現しません。患者様を中心とするリハケアチームがいかにか機能してリハビリテーションを提供できるかが、回復の鍵であるのだと思えました。それと同時に、専門職として作業療法士が持つ可能性やチームとして働く事へのやりがいを知ることができ、大変有意義な実習を過ごしました。

■実習で心に残った患者様とのエピソードがあれば教えてください。

長期実習で私が初めて担当させて頂くことになった患者様は、発症して間もない方であり、失語症という症状の影響でうまく言葉を発することができない状況でした。1週間程が経過して回復の兆しが見え始めた頃、その方が初めて発した言葉が「もう来るな」という私への拒否を示す言葉でした。一時は、私の顔を見ることさえ拒否されていたためにとっても悩みましたが、自分のできることをただ一生懸命に取り組んでいると、次第に患者様も私の事を認めてくださる様になりました。そして、実習最終日にはその患者様が突然に

私のもとを訪ねてこられ、涙ながらにお礼の言葉と手紙を頂いたことは今でも強く心に残っています。

■国家試験に向けての勉強方法や私生活で気を付けていることを教えてください。

現在のところ、学校での学習はグループワークを中心に行っています。あらかじめ自宅で調べ学習する分の問題をメンバー間で割り振り、翌日に各自が調べてきた知識をシェアし、十分に理解した上で口頭試問による確認テストを実施しています。

国家試験の勉強は単調になりがちであり、また本番までの期間も長いためにモチベーションを保ちつつ健康管理をする事が大切となります。そのためには適度な運動と十分な睡眠時間を確保することが重要だと考えていますので、普段からそれらのことに気を付けています。

■卒業を控えています、学院生活を振り返ってみてどうですか？

この4年間は本当にあつという間でした。この学校へは「作業療法士になる」という強い思いをもって入学したつもりではあったのですが、やはり実習や勉強も簡単にはいかず、大変な4年間だったと改めて思います。ですが、そのような苦楽を共にしてきた分、信頼できる仲間も増え、この学校では知識だけではなく大切なものを学べたように思います。まだまだ卒業までの期間は長く、国家試験という一大行事が控えていますので、初心を忘れずに残りの学生生活をより一層充実させられるように取り組んでいきたいと思えます。

■どんなセラピストになりたいですか？

まだ自分の中では理想のセラピスト像は描きできていません。ですが、病気によって困っている方が再び輝く人生を取り戻す、そんな作業のお手伝いができれば幸せだなと思います。優柔不断で頼りがいのない私ですが、患者様から「この人となら頑張れる」そう言ってもらえるような安心感のあるセラピストを目指して頑張りたいと思います。



理学療法学科4年 新名 祐介 (宮崎南高校卒)

■長期実習で学んだことや感想を教えてください。

1期目の長期実習では、県外であり、ホテル暮らしで普段と違う生活であったため大変でした。勉強面では、4症例の患者様を担当させていただき、各疾患の知識が不足していたため患者様の状態を把握することが大変でした。学校では机上の勉強しかしませんが、実習では患者様を通して学ぶため、内容が頭に入ってきた感じが良かったです。2期目の実習地では脳卒中の患者様を担当させて頂きました。自分の苦手な分野でしたが、患者様の起き上がり動作を自立させるために訓練を自分で考え、それをポスターにして病室に掲示したり、方法を看護師に説明したりと、患者様のことを考えて一生懸命頑張りました。また、職員同士の雰囲気もよく、色んな場面で良くしていただき、自分もこのスタッフと一緒に働きたいという気持ちが強くなり、この病院に就職したいと思いました。

■実習で心に残った患者様とのエピソードがあれば教えてください。

担当した患者様が失語症の患者様であったため、コミュニケーションをとることがとても難しかったです。実習の前半部分では、言葉がなかなか出ずに表情だけでコミュニケーションをとってききましたが、時間がたつにつれて、復唱や発語ができるようになり、最後には自分の名前を呼んでもらえるようになりました。日に日に状態が良くなっていくのが見られたためとてもうれしかったです。また、長期実習で最初に担当させて頂いた患者様に

は、退院する際に「君にリハビリをしてもらってよかった」とお言葉を頂きました。自分の話を家族にもしていただいて、家族の方からもお礼を頂き、理学療法士の仕事のやりがいを実感しました。

■国家試験に向けての勉強方法や私生活で気を付けていることを教えてください。

国家試験の勉強はとても大変です。1年から3年までのすべての範囲を覚えなければいけないので、覚えるのにとても苦労します。勉強方法はグループを作って、各自で担当する範囲を分かりやすいようにポスタリングし、グループの皆に発表します。その後、その範囲の国家試験問題を解くことを行っています。絵を使ったり、語呂合わせを行ったりと、いろいろ工夫しながら皆で頑張ってます。

私生活では、風邪を引かないように、ご飯をしっかりと食べ、早寝・早起きを徹底して行っています。

■卒業を控えています、学院生活を振り返ってみてどうですか？

1年生の時には長い学校生活が始まるなと思いましたが、今ではとても早い学校生活だったと思います。勉強のことはもちろんですが、クラスマッチや文化祭でのバンド演奏、テニス部で九州大会に行ったことなど、勉強以外の面でもとても充実していました。クラスの皆ともいろいろなことをしたりと、とても楽しかった4年間でした。

■どんなセラピストになりたいですか？

私はこの学校に入るまでは理学療法士という仕事をあまり知りませんでした。学校での勉強や実習を通して患者様としっかりとした信頼関係を築ける理学療法士になりたいと思うようになりました。知識や治療技術はもちろんのことですが、一番は患者様との関係が大切であると思うので、良い関係を築けるように笑顔で明るい理学療法士になりたいと思います。



看護学科3年 亀山 千尋 (秀岳館高校卒)

■長期実習で学んだことや感想を教えてください。

3年になり、それぞれ領域別の実習オリエンテーションを受けていて、4月から12月までの長期実習をのり越えることができるかどうか不安を抱えていました。しかし、実際に実習に行ってみると、1クール3週間という実習期間がとても短く思えました。

また、それぞれの領域実習でしか学べないことも、難しいこともたくさんありました。指導を受けながらも書き上げた看護計画を患者様に実施し、少しずつでも患者様の状態が良くなったり変化がみられた時は、とても充実感があり楽しく実習に取り組むことができました。私がここまでこれたのは、同じ実習を共にし、励まし協力しあった仲間や、ご指導くださった担当教員、実習指導者の方々、また、温かく見守ってくれた両親のおかげだと思っています。

■実習で心に残った患者様とのエピソードがあれば教えてください。

私が心に残っている実習でのエピソードの中で、特に強く残っているのが成人看護学実習Ⅲと母性看護学実習でのことです。成人看護学実習Ⅲでは、日々状態が変化し、人生の終末を迎えた患者様を受け持たせていただきました。その患者様は、意識レベルが徐々に低下していき、レベルⅢの状態になりました。私はできるだけそばに寄り添って話しかけたりし、顔や手の清拭を行いました。清拭後は「気持ちよかった」と頷かれ反応してくださったことがとても嬉しく、少しでも患者様により添った看護を心がけました。

母性看護実習では、新しく育った生命に対し、レオポルド触診を行っての不安な中での実施に対し、指導者の助言による指先で確認する感覚を学びました。新たな生命の誕生の喜びと、胎児にも母体にも負担が最小限になるような援助を行っていくことを実感しました。

■国家試験に向けての勉強方法や私生活で気を付けていることを教えてください。

学校では、模試で自信がなかった問題に対して解説を見ながら、自分なりに分かりやすく図や関連図を書いて見直しをしたり、参考書に付いている問題集を解いたりしています。また、友人と問題を出し合ったりして、一緒に楽しく勉強しています。家にいる時は、過去に受けた模試を振り返ったりし、通学・帰宅している間は、携帯サイトにある国試の過去問を解いたりしています。

■卒業を控えています、学院生活を振り返ってみてどうですか？

3年間あつという間に過ぎたなと思えます。1年生の頃は、3年生になったらどれくらい成長しているのかなという期待と実習を頑張れるかなという不安でいっぱい、"優しい看護師になりたい"という思いがありました。しかし、いろいろな領域実習に行くことで、より具体的な看護師像を持つことができました。また、学校生活を楽しく過ごすことができたのは、クラスのみんながとても明るくフレンドリーだったからだと思えます。

先生方から指導や助言を頂くことも多かったですが、この3年間みんなと過ごせて良かったと思っています。

一緒に苦労しているんなことを乗り越えてきたからこそ、最後はみんなで笑って卒業したいです。

■どんな看護師になりたいですか？

看護師になると学生では出来なかったことが出来るようになりますが、患者様とのしっかりとした信頼関係を築けるように患者様一人ひとりとのコミュニケーションを大切にしていきたいです。また、患者様の全体像を把握し、少しの変化にも気付ける観察力を持った看護師になりたいです。

在学生紹介～部活動キャプテン～



ソフトテニス部 理学療法学科3年 山邊 竜基 (熊本中央高校出身)

■エキガクで部活をしたきっかけは？

高校でしていたことが大きいです。他のスポーツをやってみたかったのですが、やっぱり練習する時間はなかなかないし、経験をいかそうかと思いソフトテニス部に入りました。あとは、体力が落ちないようにするためです。

■3年間を振り返って、部活動をやって良かったと思えたこと、県大会や九州大会を終えての感想や仲間とのエピソードなどがあれば教えてください。

3年間ソフトテニス部として大会に出ましたが、1年生の時には勝ちたいという気持ちで部活をしており、特に他の事を考えることはあまりありませんでした。しかし、2、3年生になってくると、大会の中での先輩方との交流や、先輩方とコミュニケーションをとることで色々な話ができ、学校とはまた異なる雰囲気を感じられることも楽しみの1つになりました。私はコミュニケーションをとったりする事が苦手なのですが、部活というきっかけにより「輪」が広がっていき、どんどん色々な人と話すことができ克服できた部分もあります。だから、部活をやっていて良かったと今は思います。

■後輩たちへのメッセージをお願いします。

スポーツは上手や下手というのではありませんが、専門学校ではそんなことは関係なく楽しめます。それ以上に自分の経験につながるものだと思いますので、ぜひ部活に入ってスポーツを楽しみながら個性を磨いてほしいと思います。



女子バスケットボール部 理学療法学科3年 野村 恵里沙 (必由館高校出身)

■エキガクで部活をしたきっかけは？

私が部活に入る持ったために部活に入ることが好きだったからです。

■3年間を振り返って、部活動をやって良かったと思えたこと、県大会や九州大会を終えての感想や仲間とのエピソードなどがあれば教えてください。

私が3年間を頑張ることができたのは、九州大会に出場することができたこと、先輩方との交流や、先輩方とコミュニケーションをとることで色々な話ができ、学校とはまた異なる雰囲気を感じられることも楽しみの1つになりました。私はコミュニケーションをとったりする事が苦手なのですが、部活というきっかけにより「輪」が広がっていき、どんどん色々な人と話すことができ克服できた部分もあります。だから、部活をやっていて良かったと今は思います。

■後輩たちへのメッセージをお願いします。

勉強など難しくは部活に入ることの色々な経験が、それはたくさんあるかもしれませんが、それ以上に自分が成長することができると思います。



卓球部 理学療法学科3年 寺本 直樹 (開新高校出身)

■エキガクで部活をしたきっかけは？

入学してから部活に入る気はありませんでしたが、友人と一緒に卓球部に入ろうと言われたのが、部活をしたきっかけでした。

■3年間を振り返って、部活動をやって良かったと思えたこと、県大会や九州大会を終えての感想や仲間とのエピソードなどがあれば教えてください。

卓球部は、部活を設立した時から、熊本県大会で優勝しており、現在7連覇中で、1年生の時から九州大会に毎年出場していました。先輩、後輩、顧問の先生と皆仲よく楽しく部活や試合をしてきました。昨年の九州大会では、念願の優勝をすることができ一番印象に残っています。1人だけでは優勝することはできなかったと思いますし、仲間と今まで部活をしてきて、よかったと思います。振り返れば、楽しい思い出ばかりありません。部活をすることにより、ストレス発散になり、先輩や後輩の繋がりができ、学校が楽しくなりました。部活をしていて良かったと思います。

■後輩たちへのメッセージをお願いします。

卓球部に入部すると、九州大会に行く可能性が高いです。ストレス発散、思い出りにどうでしょうか？これからも卓球部の運籌を伸ばしてください。ぜひ卓球部に!!が、それ以上に自分が成長することができると思います。

